

# オウム真理教

## 教団の現状

オウム真理教（以下「教団」という。）は、麻原彰晃こと松本智津夫への絶対的帰依を強調する**主流派**（「Aleph(アレフ)」）と松本の影響力がないかのように装う**上祐派**（「ひかりの輪」）を中心に活動しています。教団は、依然として松本及び同人の説く教義を存立の基盤とし、無差別大量殺人行為に及ぶ危険性が認められるとして、無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律（以下「団体規制法」という。）に基づく観察処分が付されるなどしており、その本質に変化がないと認められます。

現在、教団は、15都道府県に**34か所の拠点施設**を有し、信者数は、その活動状況等から合計で約**1,650人**とみられます。また、海外においても、ロシアに信者約460人を擁し、数か所の拠点施設を確保しているとみられ、幹部がロシア等に渡航し、指導に当たっています。

主流派は、依然として松本を「尊師」と尊称し、同人の「生誕祭」を開催しているほか、松本の写真を拠点施設の祭壇に飾るなど、**松本への絶対的帰依を強調して「原点回帰」路線**を徹底しています。このような中、同派では、松本の二男の教団復帰をめぐる動向に端を発した内紛が依然として継続しているとみられます。海外では、平成28年3月にモンテネグロで主流派の日本人信者4人とロシア人信者等54人が滞在先で身柄を一時拘束され、滞在拒否の処分となったほか、4月にロシアで主流派の施設、信者宅の搜索や信者の取調べが行われるなど、各国の捜査機関の取締りにより、その活動の一端が明らかになりました。また、ロシアでは、同年9月に教団がテロ組織に認定され、同国内での活動を禁止する決定がなされ、同決定は10月に発効しました。

一方、上祐派は、同派のウェブサイトにも旧教団時代の反省・総括の概要を掲載したり、各種メディアを通じ、「松本からの脱却」を強調したりするなど、**松本の影響力がないかのように装って活動**しているほか、「開かれた教団」や組織の刷新をアピールするなど、団体規制法に基づく観察処分の適用回避に向けた取組に全力を挙げています。

今後、主流派は、松本への絶対的帰依を強調しながら、組織の拡大、統制を図っていくものとみられます。一方、上祐派は、「松本からの脱却」を装いながら、**観察処分の適用回避に努め、組織の維持を図っていくもの**とみられます。



オウム真理教の拠点施設等

## 組織拡大に向けた動向

主流派は28年中、北海道札幌市及び滋賀県甲賀市に新たな拠点施設を確保しました。また、同派は、教団名を秘匿し、街頭や書店における声掛けのほか、ソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）等を利用しながら、青年層を中心に接触を図り、**ヨガ教室に勧誘**するなどして新規信者を獲得しています。

一方、上祐派は、各拠点施設で開催している「上祐代表説法会」や、各地の神社仏閣等を訪問する「聖地修行」等の行事について、**ウェブサイトを通じて、参加を呼び掛ける**などし、信者獲得を図っています。

## オウム真理教対策の推進

警察では、無差別大量殺人行為を再び起こさせないため、引き続き、関係機関と連携して教団の実態解明に努めるとともに、組織的違法行為に対する厳正な取締りを推進しています。**28年中は、観察処分に基づく公安調査庁の立入検査に際し、団体の活動を明らかにするために必要な検査対象物件を隠匿し検査を困難な状況にしたとして、団体規制法違反（検査忌避）で主流派出家信者ら2人を逮捕**しました（9月、神奈川）。

また、地下鉄サリン事件から21年が経過し、教団に対する国民の関心が薄れ、一連の凶悪事件に対する記憶が風化することなどにより、教団の本質が正しく理解されないことも懸念されます。そのため、警察では、各種機会を通じ、教団の現状や教団の組織的違法行為に対する検挙事例等を、住民や地方自治体等に対して積極的に広報するとともに、教団施設周辺の地域住民の安全・安心を確保するため、その要望も踏まえ、教団施設周辺におけるパトロール等の警戒警備活動を実施しています。



教団施設の搜索状況



教団施設周辺における警戒警備状況

### ※ オウム真理教による主な事件

事 件 名	発生日	死者数及び負傷者数
① 弁護士一家殺害事件（殺人）	平成元年11月4日	死者3人
② 松本サリン事件（殺人・殺人未遂）	平成6年6月27日	死者8人 負傷者約140人
③ 公証役場事務長逮捕・監禁致死事件（逮捕監禁致死・死体損壊）	平成7年2月28日	死者1人
④ 地下鉄サリン事件（殺人・殺人未遂）	平成7年3月20日	死者13人 負傷者5,800人以上 （※）オウム真理教犯罪被害者等を救済するための給付金の支給に関する法律に基づき給付金の支給を受けた被害者数